【樹木の部屋】

人気の常緑樹『オリーブ』（モクセイ科オリーブ属）

常緑高木（１０m）、　モクセイ、ヒイラギ、ネズミモチ、ライラックと同じモクセイ科

オリーブの葉　葉の付き方
撮影日時：2012.7.24
撮影場所：奈良県立高等技術専門校にて

花言葉

平和（ノアの箱舟）　知恵（女神アテナのシンボル）

オリーブの由来

野生種と栽培種があり、紀元前３０００年頃クレタ島で栽培されていた。

日本に初めてオリーブオイルが入ってきたのは、安土桃山時代

ポルトガル人によって持ち込まれた。

オリーブの木の伝来は文久２年及び慶応３年に医師林洞海がフランスから苗木を横須賀に植えたのが始まりです。

明治４１年、三重、香川、鹿児島の３県に試作をするが小豆島（香川県）だけが栽培に成功した。

寿命の長い樹で古い枝を切り払い育てると２～３００年、トルコ地方の古木で３０００年を超す木もある。

オリーブの樹形（手前のもの）
撮影日時：2012.7.24
撮影場所：奈良県立高等技術専門校にて

用途

果実はオリーブオイルの原料や塩漬け（ピクルス）等

品種

マンダニロ・・スペイン原産でピクルスやオイルに利用
実付きが良く樹高が低く栽培しやすい

ルッカ・・・・オイル用の品種で自家結実性
他の品種の受粉樹として利用

ネバディロ・フランコ・・・・
スペイン原産でオイルに利用
生育が早く庭木・観賞用に、利用

【樹木の部屋】

ミッション・・アメリカから導入され、
ピクルスやオイルに利用
バランスの良い樹形で庭木、
観賞用として需要が高い

オリーブの木は品種が多く４００種以上あります。

*引き続き写真を掲載します。
*オリーブの実、品種別の写真を探しています。